

エリア	内容	運営管理手法
ウエルカム エリア	客をお迎えするおもてなしの場 / 「道の駅」としての玄関機能 (※ショップなど、商業的なものは含まない)	-
情報コーナー	「道の駅」の必須機能、道路・防災情報、地域の観光情報など。	指定管理もしくはPFI
アトリウム (ロビー)	客をお迎えする玄関(ホール)的機能の場。 ソファなど休憩ゾーンにするところが多い。 上記の情報の内、地域情報はここで発信する方法もある。 イベントとの連動使用もあり。	指定管理もしくはPFI
トイレ	24時間対応トイレ使い易い&キレイなトイレが今の主流。	指定管理もしくはPFI
カルチャー & コミュニティエリア	公的サービスのスペース 住民用、観光客用に体験などのできる場 無料、有料どちらもあり	-
ギャラリー	地元の人々の活動発表の場、または全国区レベルの展示を行うこともあり。 既存公的施設等にある場合が多いが、観光客の集まる道の駅に設置することにメリットがある。 文化・歴史紹介ブース	指定管理もしくはPFI
多目的 スペース	主に施設管理者が研修や打ち合わせに使う会議室。 観光体験など、客の使用も考えられる。 昔遊び体験、フラワーアレンジ教室、地場産業体験	指定管理もしくはPFI
体験キッチン	地域メニューづくりなどの観光体験を行う場。 加工場としての機能を備えれば、直売所に出す加工品の加工場としても使える。 料理教室、フライ・ゼリーフライ教室	指定管理もしくはPFI

エリア	内容	運営管理手法
その他	「道の駅」施設内の公的機能、地域振興を目的とした商業機能以外のゾーン 屋外公園、その他市民向けサービス機能(病院、保育所)など	-
コンビニ	主に市民の利便施設としての位置づけ。 24時間対応、または深夜営業が望ましい。	民営
イベントスペース (公園)	屋外または屋内での市民活動の拠点(朝市、祭り、各種イベントなど)。 地元の人達の市や物産展などの他、地域イベント(祭りなど)の拠点の1つにもできる。 通常は遊び場の公園として開放できると良い。 ドッグラン、水遊び場、BBQ場、アスレチック場	指定管理もしくはPFI
アグリパーク	地元の生産者等と共同し、見せて体験する観光農園。 体験農場、観光農園、クラインガルデン、フルーツ園、牧場、ふれあい動物園	指定管理もしくはPFI または民営
※バスターミナル	必要に応じて整備する。	指定管理もしくはPFI
※生活交流エリア	医療施設、福祉施設、子育て支援施設、消防署、郵便局	民営
	市役所窓口、防災備蓄センター	指定管理もしくはPFI
※バックヤード	事務所、直売所の商品の在庫管理や生産者が搬入作業などを行う場、イベントなどの設備器具の倉庫など、それぞれ道の駅施設内とするか、別棟とするかは要検討。	-

エリア	内容	運営管理手法
賑わいエリア	直売所や物販、飲食など商業的収益機能の場 「行田」の発信の場	-
直売所	地元の生産者の販売の場。生産者の“顔”が見える販売手法。 管理はJA、または別の団体(生産者など)、施設管理者などが考えられる。 野菜市場、花市場、鮮魚市場	指定管理もしくはPFI または民営
物販	地元の銘菓や土産品、菓子、雑貨などオリジナル商品や地域商品の多い売り場か、一般的な土産品売り場かで、イメージが変わる。 直売所と一緒にすることも可。 菓子製造販売、足袋ショップ、※姉妹都市提携店、「城・蔵」コーナー	指定管理もしくはPFI または民営
参加型 一坪ショップ	地元の人達が出店するミニショップ。 商品販売や飲食など、横丁型(ラーメン博風)に小さな店を配置。 管理は指定管理者が行う、全体計画に沿った運営など、出退店の管理が難しい。 屋台村、そば工房、うどん工房、ピザ工房、豆腐工房、フライ・ゼリーフライショップ、スイーツ販売、いちごショップ、駄菓子屋、たまごショップ、青大豆ショップ、ハンドメイド販売	指定管理もしくはPFI または民営
レストラン	地元の女性達や活動グループの運営の「農家レストラン」型の地域らしいタイプが多いが、その場合は指定管理者の管理下となる。 行田オリジナルメニューがあると話題性が高い。 民間テナント型にすると、地域らしさ(名物メニューなど)を出すのは難しい。 (※1店舗型かフードコート型かは今後の検討) 地産地消レストラン、喫茶店、ラーメン屋、パン工房、パスタショップ、行田麺屋、行田定食屋、デザートカフェ	指定管理もしくはPFI または民営
テイクアウト	ドリンクやソフトクリームなど、一般的なメニューのみにするか、ゼリーフライやコロッケなどオリジナルをやるか否か。利益率は高いアイテムが多い。 (※テイクアウトとしては一般的メニューのみとし、一坪ショップで地域名物メニューの展開も考えられる)	指定管理もしくはPFI または民営

※「直売所」「物販」「参加型一坪ショップ」「レストラン」「テイクアウト」における各ショップやメニュー(赤字)は、店の作り方によって、どのエリアに入るかは変わってくる。
例えば、道の駅エリアには一坪ショップ型(「行田横丁(案)」)のみで地元の“食”や“モノ”を集約、別エリアで大型飲食店や土産品ショップを設置(誘致)することも考えられる。